



周防大島町

SUO-OSHIMA TOWN

活動取組

周防大島町の推進構想

1 地域連携教育の「成果」と「課題」

【成果】

- 熟議に参加する児童生徒が増えている。
- 学校・地域連携カリキュラムの見直しを行い、各学校とも地域の魅力や特色を生かした地域連携教育を展開している。

【課題】

- 令和6年2月に町地域協育ネット協議会を設立した。同会を中心に本町の地域協育ネットの再編・取組の充実化を図る。
- 周防大島町地域協育ネット協議会委員・学校・家庭・地域関係者での本町の地域協育ネットの目的・取組の共有化を図る。

2 「課題」解決に向けた重点取組事項

- 地域協育ネット協議会の運営や活動の在り方について協議し、持続可能なシステムを構築していく。
- 小・中学校と保育園・保育所、高等学校・高等専門学校との校種間連携の機会を増やす。
- 地域協育ネットの役割を関係者間で再確認する。
- 児童生徒が地域連携の良さをより感じられるよう、学校・地域連携カリキュラムを継続的に見直す。

3 重点取組の進捗を測る指標

- 小・中学校と高等学校・高等専門学校との連携回数。
- 児童生徒アンケートを実施し、「CSについて知っている」「地域への愛着がもてた」の項目に対する肯定率。

【地域協育ネット協議会の構成図】



町教育委員会

第1回地域協育ネット協議会



学校担当者・地域学校協働活動推進員・社会教育団体関係者等で協議し、各学校の取組の情報共有を行った。

東和小学校

小学校・高校で連携した熟議



ウェルビーイングをテーマに、6年児童・高校生・保護者・地域の方で町づくりについての熟議を行った。

放課後子ども教室

放課後せんせい



周防大島高校「アロハ・フラ島高」の高校生を講師として、高校生と小学生がフラを通して交流を行った。

家庭教育支援事業

子育てサロン



合同での就学時健康診断を行い、その中で保護者同士の子育て・進学に関する情報交換を行った。